

# 標準的な接種スケジュール例



令和7年4月1日現在

■:公費助成で接種できる期間

■:日本小児科学会推奨接種期間

▼:標準的な接種時期

●:通知送付時期

ワクチンの種類		接種回数 接種済み☑	0 か月	1 か月	2 か月	3 か月	4 か月	5 か月	6 か月	7 か月	8 か月	9 か月	10 か月	11 か月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳
5種混合 生後2か月～7歳半に至るまで		4回 □□□□			1 ▼	2 ▼	3 ▼								追 ▼															
小児用肺炎球菌 生後2か月～5歳に至るまで		4回 □□□□			1 ▼	2 ▼	3 ▼								追 ▼															
BCG 1歳に至るまで		1回 □						1 ▼																						
B型肝炎 1歳に至るまで		3回 □□□			1 ▼	2 ▼				3 ▼																				
ロタウイルス	ロタリックス (1価) 生後6週～24週	2回 □□			1 ▼	2 ▼																								
	ロタテック (5価) 生後6週～32週	3回 □□□			1 ▼	2 ▼	3 ▼																							
日本脳炎 (1期) 生後6か月～7歳半に至るまで (2期) 9歳以上13歳未満		4回 □□□□													(1期) 1 ▼	2 ▼	追 ▼					(2期) II ●								
2種混合 11歳以上13歳未満		1回 □																												
麻しん風しん混合・おたふくかぜ (1期) 1歳～2歳に至るまで (2期) 小学校就学前1年間		2回 □□												(1期) I ●								(2期) II ●								
水痘 1歳～3歳に至るまで		2回 □□													1 ▼	2 ▼														
HPV	サーバリックス® (2価)	3回 □□□																												
	ガーダシル® (4価)	3回 □□□																												
	シルガード®9 (9価) ※1回目の接種時期により接種回数が異なる	2回 □□ または 3回 □□□																												

生後2～7か月に接種開始した場合の接種例です。接種開始時期によって回数と間隔が異なります。詳細は「小児用肺炎球菌ワクチン接種フローチャート」にて。

・原則として、初回接種は生後14週6日までに行います。15週以降の初回接種は、腸重積症の好発年齢と重なるためお勧めしていません。  
・原則として、途中からワクチンの変更はせず、最初に接種したワクチンが続けて接種してください。

平成19年4月1日以前に生まれた方は、1期と2期の不足分を20歳になる前日まで公費で接種することができます。

出生届の際に必要な書類をお渡しいたします。